

3-12 大学情報化職員基礎講習会

本講習会は、主に新人職員を対象に、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関わっていくために、日常業務の情報化や意思決定支援のための情報システムの構築と活用など、大学改革を支える情報化の基礎知識の修得を目的として開催するものである。なお、講習会の企画・実施・運営は研修運営委員会にて対応した。

(1) 開催要項の決定と実施準備

- ① 事前に講師の打ち合わせを行い、各講義の内容に重複や不足が生じないよう精査するとともに、各クラスで受講の順番が異なることから、講義の順序によらず一定の理解が得られるよう、使用する用語や説明方法などに配慮した。
- ② 昨年度は、主に情報センター等部門の新人職員を対象としたITコーディネータ基礎コースを設けたが、高度な技術内容を含んでおり、本講習会の趣旨にそぐわないため、今年度は取りやめた。
- ③ 講義中は、できるだけ先進事例を盛り込み、より理解しやすい講義となるよう工夫することとした。また、参加者の自発性を促すために、質疑応答や意見交換の時間を講義中に設けることとした。
- ④ 全体会基調講演では、社会が求める人材像と大学に期待する教育の在り方について、丹羽 健夫 氏（河合塾顧問）により説明いただくこととした。

平成14年度大学情報化基礎講習会開催要項

1. 基礎講習会の目的

この講習会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化をはじめ意思決定支援のための情報システムの構築と活用、コミュニケーションやプレゼンテーション手段としてのWebサイトの活用など、初心者を対象にテキストなどにより分かり易く講習を行い、大学改革を支える情報化の意義を理解し、大学職員の資質向上に寄与することを目的とします。

2. 受講対象者

加盟大学・短期大学の職員で、教育機関の情報化に関する基礎知識の修得を希望する方、ならびに大学・短期大学において情報化推進業務に携わる新人職員を対象とします。

3. 講習内容

大学・短期大学における情報化の動向ならびに基礎知識について、以下のテーマをテキスト等による講義形式で学習します。また、講義時間は1テーマにつき120分とし、講師は研修運営委員会委員が担当します。受講者がパソコンなどを使用する実習は行いません。

4. 事例紹介

大学・短期大学における今後の情報インフラ整備のあり方についての理解を深めるため、会員大学、賛助会員などによる事例紹介、技術動向の解説などを行います。

5. 日 程

平成14年7月10日(水)～7月12日(金)
2泊3日間の合宿形式となります。

6. 参加資格

加盟大学・短期大学の職員。

7. 研修内容

【基調講演】

講演者：丹羽 健夫 氏(河合塾顧問)

テーマ：「社会が期待するネットワーク時代の大学とは」

大学は、教育の充実向上に向けて自学の教育理念に基づき、目標とする教育が達成されるよう常に改革に向けて努力を怠ってはならない。職員は自大学の現状、問題点と改善に向けた課題点を把握し、教育支援の立場から自らの業務が自学の理想とする教育にどのように貢献するのかを意識しながら、組織体制の変革、個々人の意識改革など、教育改革に向けて取り組むことが必要である。

大学教育の目標はつまるところ、社会が求める人材の育成、輩出である。そのためには、自学内のみを目を向けるのではなく、企業をはじめとする社会が何を大学に期待し要請しているのか絶えず把握することが求められる。昨今、ネットワークなどの情報技術が急速に普及・発展しており、教育での活用機会、可能性が増えてきており、画一的な教育から、学生一人一人の個性、目標、要望に応える教育が可能になりつつある。しかし、目標(社会が求める人材像)を把握していなければ、教員と協働して授業でのIT利用を効果的に進めていくことはできない。

本講演では、学外からの視点で、大学教育の問題点や教育の有り様について解説し、職員の果たすべき責務について考える機会としたい。

【講義】

- ・大学を取り巻くITの変遷と動向
- ・ITによる教育改革と今後における情報環境整備
- ・ネットワークの活用と教育研究活動の高度化
- ・IT活用と情報倫理
- ・大学における情報化戦略

(2) 開催結果と次年度開催計画の検討

参加者は、91大学、2短期大学の総勢213名であった。(開催結果の詳細は資料編【資料12.研修会関係資料】を参照されたい。)

今年度は、講義間の内容を整序することに配慮するよう心掛けたが、実施してみると、事例紹介で取り上げた内容が講義の内容と重複する箇所があり、受講者の混乱を招くことがあった。次年度には、講習会全体の内容について、これまで以上に精査することになっている。

次年度の企画については、「ITによる教育改革と今後における情報環境整備」と「ネットワークの活用と教育研究活動の高度化」の講義は、重複するものが多いため、整理統合することとした。その他の講義については、基本的に前年度の内容を踏まえ、最新動向を反映させた内容とすることになっている。なお、今回は京都産業大学を会場として行う予定である。